

書道科 学習指導案（略案）

令和3年12月3日（月）第3、4限
県立三郷高等学校 1年3・4組
教諭 田中有紗

1 単元名：仮名の書の古典に学ぼう

2 単元について（学習内容の概要）

これまで、第一学年の生徒は書道Ⅰの授業を通して漢字の書の古典を鑑賞・臨書してきた。そのため、漢字(楷書・行書)の書への知識理解や漢字の書を書く技能については学習できている。しかし、現代の私たちが漢字同様に日常生活で使用している平仮名・片仮名が持つ背景や、日本独自に発展してきた仮名文化についてはまだ学習できていない。これらは現代の日本文化の基盤を形成してきた要素にも関わらず、日常生活ではなかなか触れる機会が少ない内容である。この単元を通して仮名の作品を鑑賞・臨書活動を通じて、生徒が主体的に仮名の書が持つ一般的な特徴や作品ごとに異なる特徴に気づき、意図を持って表現できるようになることで、日本独自の仮名文化に興味・関心を持つことを目指し、この単元を設定した。

3 単元の目標及び評価規準

（１）単元の目標

- ・古典を実際に鑑賞・臨書することで仮名が持つ一般的な特徴や古典による違いを理解する。
- ・日本独自の文字である「仮名」の成立背景や「漢字」と「仮名」の関係性について考え、理解する。
- ・仮名の書の基本的な用筆・運筆・字形・全体の構成について理解し、意図を持って表現する。
- ・日本独自の仮名文化に対する興味・関心を深め、書を愛好する心情を養う。

（２）単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
・仮名の書に関する基本用筆や一般的な特徴、古典ごとに異なる特徴などを理解し、基本的な技能を身に付けている。 ・仮名の書を書く際に用いる基本的な用具用材を理解し正しく使っている。	・臨書する古典に合わせて用筆や運筆、全体の構成を工夫し意図的に表現している。	・日本独自の仮名文化や仮名の作品に興味・関心を持ち主体的に学ぼうとしている。

4 生徒観（学習状況の実態）

本校第一学年の生徒は、感じたこと、考えたことを自分の言葉で話す、書くということが苦手な傾向にある。そこで、これまでの授業の中でも古典の鑑賞を通して、古典それぞれの違いや特徴等を感じ取り、自分の言葉で記述する、発表するという時間を設け、表現力、鑑賞力の強化に努めてきた。

今回の単元「仮名の書の古典に学ぼう」において中心に取り扱う「仮名」は唯一日本で使用されている文字であり、生徒たちが普段当たり前のように使用している文字である。よって単に古典を臨書する、あるいは鑑賞するだけではなく、なぜ、ひらがな・カタカナが生まれるに至ったのか、といった成立背景や過程、あるいは、漢字とどのような役割や性質の違いがあるのか、といった漢字との関係性についても生徒自身が疑問を持ち、主体的・対話的で深い学びを意識した学習ができるようにする。

5 指導計画

時	指 導 内 容 等
第 1・2 時	・仮名の成立や変遷について理解する。 ・仮名の用具用材について理解する。 ・仮名を書く際の姿勢や執筆法について理解する。 ・仮名の基本用筆について理解し身に付ける。
第 3・4 時	・変体仮名と平仮名の成立について理解する。 ・連綿と単体について理解する。 ・「いろは歌」を臨書する。
第 5・6 時	・「高野切」を鑑賞し第一種、第二種、第三種がそれぞれ持つ特徴を理解する。 ・「高野切第三種」を鑑賞し特徴を理解する。 ・「高野切第三種」の特徴をふまえて臨書する。
第 7・8 時	・仮名の書と漢字の書の違いについて、書く速さや字形の構造、性質の観点からそれぞれ深く理解する。 ・第5時でグループごとにまとめたことを他の班の人と意見交換をし、漢字の書と仮名の書の違いについて考えを深める。 ・各活動で得た学びを踏まえて、自分の考えをまとめる。

6 本時の学習について

⇒ 別紙「最終報告書」に詳細記載

令和3年度 埼玉県高等学校初任者研修 授業力向上研修 最終報告書

学校名	埼玉県立三郷高等学校	教科	芸術科
		氏名	田中有紗

授業日時	令和03年12月3日	教科・科目	芸術科書道
学年・年次	第1学年	児童生徒数	20名
実施内容	仮名の書の古典に学ぼう	本時／この内容を扱う全時数	7, 8時/8時
教科書及び教科書会社	教育図書『書Ⅰ』		

授業のねらい（本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか）
「仮名」は、唯一日本で使用されている文字であり、生徒たちが普段当たり前のように使用している文字である。よって単に古典を臨書する、あるいは鑑賞するだけではなく、なぜ、ひらがな・カタカナが生まれるに至ったのか、といった成立背景や過程、あるいは、漢字とどのような役割や性質の違いがあるのか、といった漢字との関係性についても生徒自身が疑問を持ち、主体的・対話的で深い学びを意識した学習ができるようにしていきたい。
メインの課題（授業の柱となる、シグソー活動で取り組む課題）
仮名と漢字にはどのような違いがあるだろう？
児童生徒の既有知識・学習の予想（対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出そうか。また、どの点で困難がありそうか。）
前時までに漢字や仮名の古典について学習し、その古典がどのような経緯で作られるに至ったのか、時代背景や歴史的背景とともにしっかりと学んできた。しかしながら、「漢字」と「仮名」それぞれの文字が有する役割や機能性、そもそもなぜ日本では大きく「漢字」と「仮名」二種類を併用しているのか、といった、当然のように自分たちが使用している文字の根本を問う課題については考えた事がない可能性が高い。よって、「画数の違い」という、目に見える部分での解答にとどまるのではないかと考える。
期待する解答の要素（本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）
「仮名」と「漢字」の違いについて、単に「画数の違い」というような目に見える部分だけで終わらせるのではなく、前時で学習している「仮名は漢字をくずしてできた」というところと関連づけられるようになっていることを期待する。 さらに、日本が他の国と違って、大きく分けて「仮名」と「漢字」の二種類を使用している理由等についても、考えを広げられることを期待したい。
各エキスパート＜対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください＞

A 仮名と漢字の書くスピードを測定せよ！

→「仮名」、「漢字」それぞれのスピードをストップウォッチで測定し、「仮名」と「漢字」の書くスピードの違いがこういった要因で違いがあるのか、考えをまとめる。

B 線や字形に注目し、仮名と漢字の構造の違いを見つけよ！

→「仮名」と「漢字」の「線の様子」や「字形」などを分析し、それぞれの文字が書かれた付箋を座標シートの当てはまる部分にはり、それをもとに「仮名」、「漢字」それぞれが具体的にどのように違うのか、項目ごとに言葉にしてまとめる。

C 仮名と漢字の役割の違いを調べよ！

→資料から、「仮名」と「漢字」が担っている性質や役割の違いについて抜き出し、整理する。

ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

これまで、漢字、仮名の表現や歴史的背景について、そして本時では漢字、仮名それぞれの役割や機能性について学習した。これらのことを踏まえ、今後は漢字仮名交じりの書の実践を通して、紙面構成や線質、線の太細、文字の大小の変化等、自分の思いを表現できるように様々な表現手法、表現要素について理解し、実際に表現する。

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	・仮名の成立や変遷について理解する。 ・仮名の用具用材について理解する。 ・仮名を書く際の姿勢や執筆法について理解する。 ・仮名の基本用筆について理解し身につける。 ・変体仮名と平仮名の成立について理解する。 ・連綿と単体について理解する。 ・「いろは歌」を臨書する。	・仮名の成立や変遷、特徴を理解し基本的な技能を身に付けることができる。 ・仮名を書く際に用いる基本的な用具用材を理解し正しく使うことができる。 ・変体仮名と平仮名の成立について興味関心を持ち、自ら学ぶことができる。 ・連綿や変体仮名が持つ効果を積極的に学ぶことができる。 ・「いろは歌」どうすればそのように書けるのかを工夫しながら臨書することができる。
前時	・「高野切」を鑑賞し第一種、第二種、第三種がそれぞれ持つ特徴を理解する。 ・「高野切第三種」を鑑賞し特徴を理解する。 ・「高野切第三種」の特徴をふまえて臨書する。	・連綿や変体仮名が持つ効果を積極的に学ぶことができる。 ・「高野切第三種」の特徴を理解し臨書できる。 ・自ら読み取った「高野切第三種」の特徴や連綿や変体仮名の効果をもとにどうすればそのように書けるのかを工夫しながら臨書することができる。

本時	・ 仮名と漢字の違いについて、書く速さや字形の構造、性質の観点からそれぞれ深く理解をする。 ・ 第 5 時でグループごとにまとめたことを他の班の人と意見交換をし、漢字と仮名の違いについて考えを深める。 ・ 各活動で得た学びを踏まえて、自分の考えをまとめる。	・ 文字それぞれの字形や構造、機能性について分析することができる。 ・ 日本独自の仮名文化や仮名の作品に興味・関心を持ち主体的に学ぶことができる。
次時	◎漢字仮名交じりの書 ・ 「紙面構成」や「余白の美」、「表現と用具用材」について理解し、自己表現力を向上させる。	・ 表現方法や表現要素について理解し、目的や意図によって使い分け表現することができる。
この後	◎漢字仮名交じりの書 ・ 自己表現力を向上させ、歌詞や詩、文言を使って自身の意図に沿って創作作品を作る。	・ 意図に応じて構成を考え、それを表現することができる。

上記の一連の学習で目指すゴール	
「仮名」と「漢字」の違いについて、単に「画数の違い」というような目に見える部分だけで終わらせるのではなく、前時で学習している「仮名は漢字をくずしてできた」というところと関連づけられるようになっている。 さらに、日本が他の国と違って、大きく分けて「仮名」と「漢字」の二種類の文字を使用していることについても、考えを広げられるようになる。	

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
導入 10分	挨拶する。 前回の授業の振り返りをする。 今回の授業の説明をする。 <本日の課題> 仮名と漢字にはどのような違いがあるだろう？	・前回の授業を思い出すように分かりやすく振り返りをする。
展開Ⅰ 20分	① はじめに（3分） ・「仮名と漢字にはどのような違いがあるのか」、現時点での自分の考えを書く。 ② エキスパート活動（15分） ・一人で小課題を把握、読み解く。（2分） ・それぞれのエキスパート課題について協力して考えをまとめる。（13分） A 仮名と漢字の書くスピードを測定せよ！ B 線や字形に注目し、仮名と漢字の構造の違いを見つけよ！ C 仮名と漢字の役割の違いを調べよ！ ☆ジグソーグループに移動する。（2分）	・話し合いが止まっていれば、助言、声かけをする。
展開Ⅱ 20分	③ ジグソー活動（20分） ・各エキスパート活動でまとめた内容をそれぞれ説明し合い、意見を共有する。 ・共有した情報、意見をもとに<本日の課題>に対する考えをまとめる。 ・クロストーク活動にむけて発表準備をする。 ・発表者、筆で書く人を決める。 ・用紙に考えの下書きを鉛筆で書く。 ・下書きしたものに筆で書く。	・3～4人×6グループ ・パワーポイントで座席表を示す。 ・話し合いが止まっていれば、助言、声かけをする。 ・あわせて根拠を資料から抜き出すように呼びかける。 ・用紙に考えの下書きを鉛筆で書くように指示をする。 ・下書きしたものに筆で書くように指示をする。

	④ クロストーク活動（30 分） - 各グループでまとめた意見を用紙で示しながら発表をする。（20 分） - 全グループの意見の中で出た共通するキーワードを抜き出し、各グループの共通点をまとめる。（10 分）	3～4 人×6 グループ - 発表を聞いている際は、メモをとるように呼びかける。 - 発表が終わった後、全グループの意見の中で出た共通するキーワードを抜き出し、重要な部分を明確化する。
	⑤ おわりに（10 分） - グループでの話し合いを踏まえて、「仮名と漢字にはどのような部分に違いがあるか」を具体的にまとめる。 - 今回の授業を通して考えたこと、感じたこと、さらに疑問に思ったこと。 あいさつをする。	- ワークシートに記入するように伝える。 - 学年組番号と名前を忘れずに記入することを伝える。

グループの人数や組み方
◎エキスパート活動 3～4 人×6 グループ ◎ジグソー活動 3～4 人×6 グループ

《実践後の振り返り》

1 生徒の学習の評価（授業前後の変化）

- (1) 3名の生徒を取りあげて、同じ生徒の授業前と授業後の課題に対する解答がどのように変化したか、具体的な記述を引用しながら示してください。実技教科等で生徒の直接の解答が取れない場合は、活動の様子の変化について記してください。

生徒	授業前	授業後
1	画数の違い	仮名は、画数が少なく楽に書けるけど、複数の文字を使う必要がある。漢字は、画数が多くて大変だけど、一つひとつの文字を表すことができる。
2	同じ言葉でも仮名で書くと「ふわふわ」した感じになる。漢字で書くと「ガチッ」って感じになる。	仮名は、画数が少なく早く書けて、一つの言葉を表すのに複数の文字を使用する。漢字は、画数が多く少し書きにくい一つ一つが意味をもっているため、文章を書いてもごちゃごちゃしない。
3	・形 ・画数	仮名と漢字が書くスピードが違い、漢字は角ばっていて、仮名は丸みを帯びていることが分かり、漢字は中国から、仮名は日本でできたことが分かりました。そして一つ一つが意味を表していることが分かりました。

- (2) 生徒の学習の成果について検討してください。授業前、授業後に生徒が答えられたことは、先生の事前の想定や「期待する解答の要素」と比べていかがでしたか。

まず、ワークシートの記述量が授業前と授業後で全く違ったように思う。授業前は「画数」や「難しい」というような単語で書いている生徒が多かったが、授業後は文章でエキスパートA・B・Cの資料の内容を短文にまとめて書くことが想像よりできていた。また、感想として、「当たり前のように使っている「漢字」「仮名」それぞれの役割がある、という視点を得ることができた。」「漢字」「仮名」それぞれの歴史や成立について自分で調べてみたい」といった感想があり、「文字」の根本について考えるきっかけとなる授業ができたのではないかな。

2 生徒の学習の評価（学習の様子）

- 生徒の学習の様子はいかがでしたか。事前の想定と比べて、気がついたこと、気になったことをあげてください。

授業後に生徒のワークシートを見て、エキスパート活動で使用した資料に記されている文章や文言を書き写してまとめている状態が想定より少なく、その資料を受けて自分がどう考えたかを自分の言葉でまとめている生徒が多かった。

3 授業の改善点

生徒の学習の成果や学習の様子を踏まえ、次の3点について今回の授業の改善点を挙げて下さい。

(1) 授業デザイン（課題の設定、エキスパートの設定、ゴールの設定、既有知識の見積もりなど）

今回、「「仮名」と「漢字」には、どのような違いがあるだろう」という課題を設定したが、「違い」として生徒が考えをまとめるには漠然としすぎた課題の提示になってしまった。
よって、「日本では、なぜ「仮名」、「漢字」の二種類の文字を使用しているのか」というようなより具体的な課題を設定し、その足掛かりとしてエキスパート活動等で「仮名」と「漢字」の違いを見つけるような授業にする方がよかった。

(2) 課題や資料の提示（発問、資料の内容、ワークシートの形式など）

今回は前回と違い、パワーポイントを使用したことで、授業全体や指示を円滑に実施でき、生徒自身も各グループの進捗でスライドを見て確認しながら活動を行うことができていた。
しかしながら、「次のスライドに移るとそれ以前のスライドが残らない」というパワーポイントの問題点もある。よって、全てをパワーポイントで示すのではなく、授業全体を通して重要なところは手書きで残しておく等の整理が必要であった。

(3) その他（授業中の支援、授業の進め方など）

全体発表（クロストーク）の際、メモを取りながら発表を聞くように指示したが、メモをとることも発表を聞くことも中途半端になってしまっていたため、発表を聞く時間とメモを取る時間を明確に分けてメリハリをつけた展開が必要であった。

ワークシート①

一年 組 番 () 月 () 日 ()

①はじめに

？ 仮名と漢字にはどのような部分に違いがあるでしょうか？

--

④おわりに

「今回の学習を通して、仮名と漢字にはどのような部分に違いがあるでしょうか？
具体的にまとめてみましょう！」

--	--	--	--

□今回の授業を通して考えたこと、感じたこと、疑問に思ったことなどを三行以上書いてみましょう。

--

④クロストーク活動

各班の考えを全体で共有します。他のグループの意見をメモしましょう。

●
(

)グループ

●
(

)グループ

●
(

)グループ

●
(

)グループ

●
(

)グループ

エキスパートA

仮名と漢字の書くスピードを測定せよ！

メンバー ()

☆ミッション1

グループのみんなで協力して、仮名と漢字それぞれの書くスピードをストップウォッチで
はかってみよう！

① ルール(詳しくは別紙「活動をするために」)を確認しよう！

・ 仮名と字源(字母)の漢字(1セット)は同じ人が書く。

それ以外の人はストップウォッチではかる係、時間をメモする係になる。

・ 一画一画を起筆から収筆まで丁寧に書く。

・ 墨をつけるのは書き始める前の1回まで。1回から墨をつけて書くこと！

② 書く文字の記録

漢字	仮名	
利	り	①
()秒	()秒	
留	る	②
()秒	()秒	



結果

(仮名 ・ 漢字) の方が

(仮名 ・ 漢字) に比べて速い！！

☆ミッション2

仮名と漢字の書くスピードの違いはどいったことが要因として考えられるでしょう？
仮名と漢字を比較して、左の枠に思いっぴつへいを書き比べてみよう！

*ヒント：スピードの違いは何から生まれるだろう？

エキスパートB 線や字形に注目し、仮名と漢字の構造の違いを見つけよう！

メンバー

・

・

・

)

漢字と仮名では、「文字の構造」「二つのものを作りあげている」「二つの組み合わせ方。仕組み。」が違います。

★ミッション

左の「仮名」と「漢字」の「線の様子」「や」字形（文字の形）「等」をみて、それぞれの文字が書かれた付箋を座標シート（別紙）の当てはまる部分に貼ります。

仮名

る り

漢字

留 利

座標シート（別紙）でグループの考えがまとまったら、ワークシートにもメモしましょう！

柔らかい

方形
(角ばっている)

円形
(丸みがある)

硬い

☆ミッション2

ミッションで完成させた座標シートをもとに、「仮名」「漢字」「それぞれ具体的に」の3つについて、項目ごとと言葉をまよめてみましょう！

	画数(かぐすう)	線の雰囲気	文字の形	その他
漢字				
仮名				

エキスパートC

仮名と漢字の役割の違いを調べよう！

メンバー

・

・

・

・

仮名と漢字では、文字として担っている役割がそれぞれあります。

左の資料1〜3を読み、仮名と漢字それぞれの性質や役割の違いを見つけましょう。

資料Ⅰ 絵文字から生まれた漢字

漢字は中国で生まれた文字です。大昔の中国ではものの形を絵にした絵文字が使われていました。その後、少しずつ形が変わり、現在使っているような漢字がつけられました。このようにものの形をもとにしてできた漢字を、象形文字といいます。しかし、象形文字で表せる漢字は限りがあるので、漢字と漢字を組み合わせるなどして、新しい漢字も考えられました。

資料Ⅱ 漢字をくずしてできたひらがな

漢字は中国でつくられ、日本へと伝わり、日本でもことばを書き表すため使われるようになりました。しかし、もともとのことばがちがうので、不便なこともありました。そこで、日本語を書き表すため漢字をもとにして文字がつけられるようになりました。漢字のくずし字からできたひらがなは、そのひとつです。

資料Ⅲ

●表意文字と表音文字

漢字のように、ひとつひとつが意味を表す文字を表意文字といいます。音だけを表し、意味を表さない文字を表音文字といいます。ひらがなやかたかな、ラテン文字（ローマ字）は表音文字です。

表意文字

山海島

表音文字

あいうえお
ABCDEFGG

☆ミッション

仮名と漢字の成立や役割の違いについて、資料Ⅰ～Ⅲから読み取り、①～③についてわから
 やすくまとめよう。また、それが分かるように図を付けてみよう。

	漢字	仮名
① 生まれた場所はどこでしょうか？	・	・
② どのようにして作られたでしょうか？	・	・
③ どんな役割の違いがあるでしょうか？	・	・